

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 28 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 2 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 30 日（火） 9:30 ～ 11:30
- 2 場 所 県庁 3 階 第 4 委員会室
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 不調不落の発生について、昨年は建築一式工事で発生率が高かったが、今年度の発生状況はどうか。

A 今年度第 1 四半期の発生件数はゼロであった。昨年度までの学校関係の耐震補強工事や福井国体関連施設工事の発注が市町を含めて概ね終わったことや、設計額における共通費の算定を国に準じて一部が増額となる見直しを行ったことなどから、今年度は、昨年度に比べ、不調不落の発生率は低下するのではないかと考えている。

Q 指名停止措置の運用状況について、県河内川ダム建設事務所発注工事における工事関係者事故に比べ、おおい町発注工事における工事関係者事故の指名停止期間が長い理由は何か。

A いずれの事故も労働安全衛生法に違反した事案だが、前者は工事関係者に負傷者を発生させたものであるのに対し、後者は工事関係者に死亡者を発生させ、労働基準監督署が書類送検を行うなど事故の程度が重大であるためである。

(2) 抽出事案審議（事前に荒井委員が抽出）

ア 海岸災害復旧工事27災10号

Q 総合評価基準の技術提案に関する評価ではどのような点で差がついたのか。

A 工程に係る提案として効率的に船を使用して工期短縮を図る内容などで評価点に差がついている。

Q 総合評価基準は公表されているのか。

A 入札公告と合わせて事前に公表している。

イ 福井運動公園陸上競技場大型映像装置新設工事

Q この工事は低入札価格調査制度を適用しているが、対象となる工事はどのくらいあるのか。

A この制度の対象となるのは設計額が2億円を超える工事であり、年度により異なるが、昨年度は20件程度であった。

ウ 福井港港湾整備事業（港湾改修）その2工事

Q 応札者が27者と多く、また失格者も24者と多いが、どのような理由が考えられるか。

A 主な工事内容が土砂運搬と単純な工事であることから応札者が多かったが、運搬方法を工夫して費用をおさえることができる工事であったため、激しい価格競争となり、その結果、最低制限価格を下回って失格となった業者が多かったのではないかと考えている。

エ 敦賀警察署粟野交番新築工事

Q 総合評価項目のうち地域精通度で差がついているが、どのような場合に加点されるのか。

A 工事場所が敦賀市内であり、敦賀市内または敦賀土木事務所管内の業者に対しそれぞれ加点を行う。

オ 平成28年度農業水利施設保全対策事業福井8期地区（奥越地区）業務委託第2号
特になし

(2) 談合その他の不正行為に関する事項について
期間中に談合情報はなかったことを報告

(3) その他
特になし